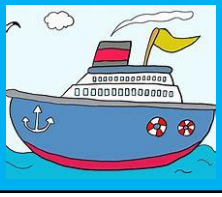
令和５年度　つかわき便り　　令和６年３月１日発行

ゆうらくせん 遊楽船３月号



施設長　福永政和

皆さま、お元気でお過ごしのことと思います。

さて、３月３日は桃の節句、さくらんぼ班ではひな人形の切り絵のカレンダーができあがっています。また、施設の玄関には今年もひな人形を飾りました。最近はミッキーマウスなどのキャラクター人形も人気だとか・・・、昭和生まれの私たちにとっては、やはり昔ながらの人形の方が優雅さや気品を感じられ、落ち着きますね。

ところで、節句とは季節の節目となる日、旬の食べ物を食べて邪気を払うのが目的、３月に咲く桃の花には邪気を払う力があることから「桃の節句」と呼ばれています。昔は草やわら、紙などで作った素朴な人形に病気や災いを自分の身代わりとして川に流すという習わしがあったようです。また、貴族の女の子の間では紙の人形で着せ替えやママゴトをする「ひな遊び」が流行していたとのこと。この人形を流して健康と災いを払う習慣と、女の子の人形で遊ぶひな遊びが合わさって「ひな祭り」となったようです。

このような歴史があって、ひな祭りは桃の節句に、ひな人形を飾って女の子の成長と幸せを願い、お祝いする日として今の形になっています。もともとは、性別や年齢には関係なく、全ての人の災いを払い、健康を願う日だったのが長い年月をかけて、女の子の祭りになったようですね。

このように、日本には季節が巡るごとに行われる様々な行事や風習が引き継がれています。こうした歴史や文化の意義を大切にし、季節感を味わうことは利用者の皆さんにとって、安らぎや幸せにもつながると思います。

早いもので３月、年度の節目の月でもあります。利用者の皆さんが、旬の食べ物をいっぱい食べて、益々健康で、一日一日を元気に、穏やかに過ごしていただくことを願います。

みんなで初詣

少々遅れましたが、２月 １３日（火）、１６日（金）２班に分かれて、それぞれ鹿児島神宮、霧島神宮へ初詣に行ってきました。みんなで今年一年の健康をお祈りし、御守りを買ったり、おみくじを引いたりしました。

やはり国宝としての霧島神宮は柱に巻き付く極彩色の龍など見事な彫刻が魅力です。御利益をいただいて利用者の皆さんが、この一年も健康で穏やかに過ごせますように。また、イオンモールでのショッピングも楽しみました。

６班　宮崎・垂水の旅

２月２７日・２８日、６班５名の利用者さんが宮崎・垂水へ１泊２日の旅行を楽しんできました。サンメッセ日南ではモアイ像をバックに記念撮影、垂水の客室温泉付きホテルでゆっくり温泉や食事を楽しみました。やはり泊での旅行は待ち遠しいとみえて随分楽しみにされていましたので、念願叶って満喫された様子でした。なかなか長旅が難しい利用者の方々もいらっしゃいますので、こうして近場ならと毎年楽しんでもらえることが嬉しいです。また、来年度の旅行を楽しみに元気で過ごしていただきたいと思います。

１月２９日～２月９日までの１２日間、第一幼児短期大学１年生４名の施設実習を受け入れました。４名とも素直で優しく、利用者の皆さんと親しくとけ込んでくれました。日中活動で共に汗を流したり、手作りのレクテーションで楽しませてくれたり利用者の皆さんにとっても楽しい毎日でした。実習はつかわきの活動を通じて、障害者福祉に対する理解と重要性を多くの若い世代に発信する良き機会でもあります。

最終日のお別れ会では、別れを惜しみながらお互いに涙し、ハグする姿に実習ではあったもののこうした施設で働くことの意義や大切さも学んでくれたのではないかと感じました。

自治会主催主催　２月誕生会

２月２５日、誕生会を開催。２月生まれは野元弘美さんのお一人でした。本来なら米森 恵さんの古希のお祝いも予定していましたが、残念ながら亡くなられましたので、皆さんで米森さんのことも思い出しながらの会食でした。野元さんはプレゼントを手にとても喜んでいらっしゃいました。ますますお元気で！